

学習内容と到達目標

☞ 自分の生まれ育った町は昔とどう変わったか。今の問題点は何かについて話す。

指導のポイント

1. INTRODUCTION 学習者がきちんと予習をしていれば、①の質問の2では「～ことができます」や「～なければなりません」が、質問の3では「～てしまいました」が学習者の発話に出てくるはず(②も同様)。出てこなかった時は、予習をしていないか、予習の仕方に問題があると考えられるので、指導が必要。

2. LISTENING Vol.2 に入って、特にこの4課あたりから日常的ではない話題が増え、リスニングの難度が一気に上がっているので、リスニングが苦手な学習者には最初から全てを聞き取らせるのではなく、教師がうまくリードして、徐々に聞き取りのレベルを上げていくようにする。例えばこの課の場合、1～2度聞いただけでは①の質問に答えることができないようなら、この質問は後回しにし、まず学習者にできるだけ多くの語彙・内容を拾わせ、それを黒板に板書する。それを1～2度繰り返し、出尽くしたら、今度は11課の[1. INTRODUCTION]のイラストを見ながら聞かせる。そして、最後に①の質問に答えさせる(その後でスクリプトを読ませ、内容を確認させる)。

3. FOCUS ②では「～から」と「～ので」の違いについて、④では「～れる・られる(可能形)」と「～ことができる」の違いについて質問に答えられるようにしておくこと。

「～から」と「～ので」の違い

- ①な形容詞や名詞と接続する時、それぞれ「～だから」「～なので」になる
- ②「～ので」の方が「～から」より少し丁寧な印象を与える
- ③「～からです」とは言えるが、「～ののです」とは言えない

「～れる・られる(可能形)」と「～ことができる」の違い

- ①「～(ら)れる」は話し言葉的、「～ことができる」は書き言葉的
- ②意味的な違いはほとんどない

4. SPEAKING これは[1. INTRODUCTION]のくり返し。予習がしっかりできていて、最初からうまく話せた学習者は飛ばしてもかまわない。

5. LISTENING タイトルは[5. LISTENING]となっているが、この課で学習した表現をうまく使って説明できるかどうか重要。

6. SPEAKING

まず、[2. LISTENING] の本田さんの話がどのような構成になっているのかを考えさせ、その後でそれと同じ構成でスピーチを作らせる。

本田さんの話の構成

- I 町の紹介／その町と自分との関わりの紹介
- II 昔と現在の対比①（本田さんの場合：自然環境・労働環境）
- III 昔と現在の対比②（本田さんの場合：日常生活）
- IV 昔と現在の対比③（本田さんの場合：医療と教育）
- V 今も変わらない良いところ

7. LISTENING

[2. LISTENING] の内容が難しすぎてリスニングの練習にならなかった学習者はここで再チャレンジ。

8. COMPOSITION

[6. SPEAKING] で話した内容を作文としてまとめさせる。

授業で使えるリソース

- ☞ 『J.BRIDGE（初中級版）』にも昔と今の違いを話題にした課（1-2「あそこ、そこ」）がある。焦点を当てている文法は違うが、この課の学習をある程度余裕を持って終えられた学習者なら、十分に聞き取れるはず。